

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	奥津川ラビンの里
(2) 指定管理者	所在地 津山市奥津川867番地 名称 ラビンの里管理組合 代表者 組合長 平山 幸隆
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部 農村整備課
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト 利用人数 589人 (前年度 633人) 宿泊施設 利用人数 189人 (前年度 221人) バーベキューガーデン 利用人数 1,939人 (前年度 1,596人)
(2) 事業の内容	ラビンの里の施設利用許可・運営・管理

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総 額 5,430千円 (前年度 5,342千円) 施設利用料金収入 1,285千円 指定管理料 4,145千円 その他 0千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総 額 5,426千円 (前年度 5,339千円) 人件費 3,337千円 光熱水費 709千円 修繕・消耗品費等 471千円 委託料 841千円 その他 68千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	利用者にアンケート用紙を渡して、評価・感想などを記入してもらっているが、特に管理人の対応が好評であり、良好な意見が多い。
(2) 指定管理者の自己評価	テントサイト、宿泊施設の利用人数が昨年度よりも減少しているが、利用件数としては伸びている。1団体の人数が減っていることが考えられる。また、27年度は天候がよかったため、バーベキューガーデンの利用者がかなり伸びている。 施設の老朽化が目立ってきており、計画的な修繕を行っている。 年々、イノシシやシカ、サルの出没が多くなっており、対策に苦慮している(平成27年度は特にシカの被害がひどい)。
(3) 市の評価	利用状況が天候に影響を受けることは避けられないことではあるが、利用者増加のために、新たな自主事業の開拓やPRを積極的に行われたい。 施設の老朽化が進行するなか、自主的に経費を節減しながら修繕等を行っている点については評価する。今後も継続的な努力に期待する。